

1.自己評価を踏まえた学校関係者評価

先生方が提出した自己評価表の確認

①自己評価の客観性

全教職員の自己評価表の確認を2017年3月14日（火）吉野園長先生と確認いたしました。園児一人一人の個性を伸ばすために時間を費やし理解しようとしている姿勢が感じられ、幼稚園教育要領などに関して読み込む必要性を自分に課している教員が多く見受けられました。「よりよい幼稚園教育とはなんであるか。」を常に話し合いの中で教職員が模索し共通認識を持てるように努力しています。

②学校・家庭・地域が共通理解を持ち、その連携協力により学校運営の改善に当たること

年長組の小学校との連携、近隣の水戸芸術館広場での散歩、エントランスホールのパイプオルガン体験、少友バザーは保護者協力のもと、地域の方が楽しみにしている行事です。

2.主体的・能動的な評価活動

少友キッズダンス教室・Let's少友 dancing の時間で園児の様子を確認

現在、保育時間中の Let's 少友 dancing、保育後の少友キッズダンス教室において園児の様子をみています。保育後の少友キッズダンス教室では園児は大きな声であいさつをしながらホールに入ってきます。その後、ダンスの始まる時間まで鬼ごっこをしたりおしゃべりしたりととにかく元気！始まりのジャンケン列車では自ら参加しない園児もいます。でも次のストレッチでは自信をもって参加する。「今日はやりたくな〜い」とぐずる子も走ってタンブリンをたたく時間は元気に走ってジャンプする。それぞれが自由に参加する。これが少友幼稚園の在り方だと思います。基本ルールは守りながら泣いたり笑ったり安心して自己肯定感を育んでいると思います。